

H27. 12. 22

食品安全委員会が収集したハザードに関する主な情報

○その他—その他

世界保健機関(WHO) 報告書「食品由来の疾病の世界的負荷推定」を発表、オランダ国立公衆衛生環境研究所(RIVM) オランダにおける食中毒における疾病負荷の推定等について報告

公表日:2015年12月3日 情報源:世界保健機関(WHO)、オランダ国立公衆衛生環境研究所(RIVM)

1 世界保健機関(WHO)は12月3日、報告書「食品由来の疾病の世界的負荷推定」を発表

<http://www.who.int/mediacentre/news/releases/2015/foodborne-disease-estimates/en/>

食品由来の疾病による死亡件数のほぼ30%は5歳未満の幼児だが、この年齢層は世界人口の僅か9%にすぎない。これは汚染食品が健康福祉に与える影響を包括的に調査した同報告書中の知見の一つである。

報告書は31の病因物質(細菌・ウイルス・寄生虫・毒素・化学物質)に起因する食品由来の疾病の負荷を推定した。それによれば毎年6億人(世界人口のほぼ10人に1人)が汚染食品の被害を被っている。このうち42万人が死亡し、5歳未満が12万5,000人を占める。

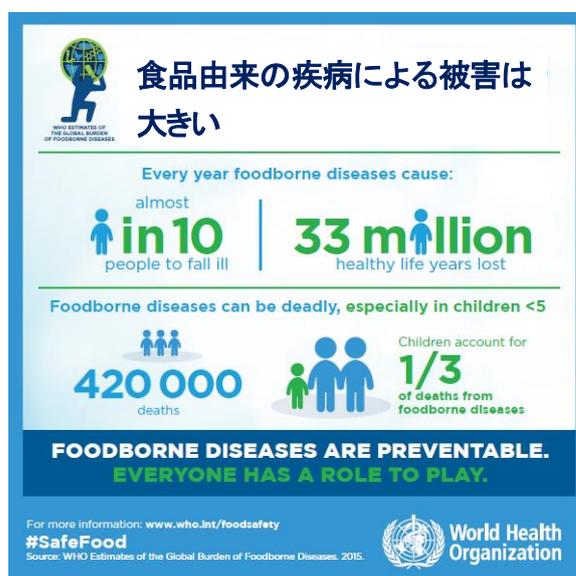
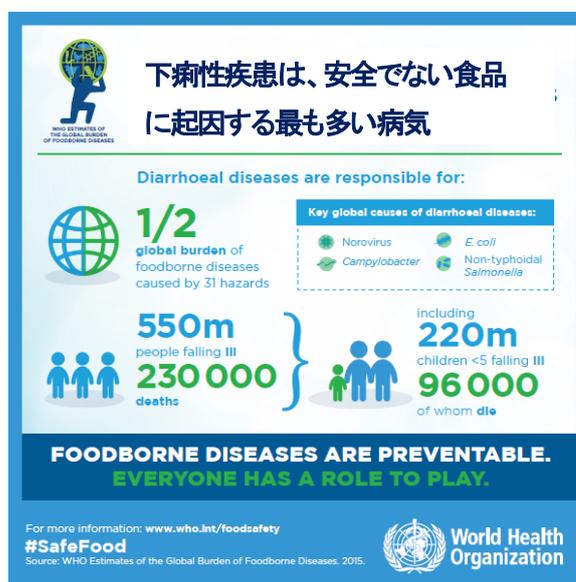
これまで食品由来疾病の推定は曖昧・不正確で、汚染食品によるコスト全体が見えにくかった。本報告書により「世界のどの地域で、どの食品に由来する病因物質が最大の問題を引き起こしているか」が分かり、国民・政府・食品業界は、しかるべき対応策を取ることができる。

食品由来の疾病による負荷は世界的関心事であるが、とりわけアフリカと東南アジアでは罹患率も死亡率も高い。この推定は100人以上の専門家の知見を結集した、数十年にわたる作業の成果である。

世界的負荷の半数以上は下痢性疾患であり、毎年5億5,000万人が発病し、23万人が死亡している。特に子供のリスクが高く、発病が2億2,000万人、死亡が9万6,000人になっている。ノロウイルス、カンピロバクター、非チフス性サルモネラ属菌及び病原性大腸菌に汚染された生や加熱不十分の肉・卵・生鮮農産物・乳製品で発病することが多い。他の主要負荷原因として腸チフス、A型肝炎、有鉤(ゆうこう)条虫(サナダムシ)、アフラトキシン等がある。

食品由来の疾病は低・中所得層諸国で深刻で、主な原因として不衛生な水、食品生産・貯蔵時の不衛生状態、識字率・教育水準の低さ、食品衛生に関する法制度の不備等が背景にある。

食品由来の疾病は吐き気、嘔吐、下痢等のいわゆる食中毒と呼ばれる短期的症状が出るが、がん、腎臓又は肝臓不全、脳神経障害といった比較的長期の原因ともなる。こうした疾患は子供、妊婦、免疫系が弱っている人では一層深刻で、子供の場合回復しても心身の発育に障害が残ることもある。



Infographics より抜粋

疾病の発生率(incidence)や疾病による死亡に加えて、今回の WHO 報告書では、疾病や死亡によって失われた健康な年数を示す**障害調整生存年(Disability-Adjusted Life Years (DALYs))**※を計算した。

2010 年では 31 の病因物質が引き起こした食品由来疾病の世界負荷は 3,300 万 DALYs で、5 歳未満の幼児がその 40%を占めていた。

2 オランダ国立公衆衛生環境研究所(RIVM)は 12 月 3 日、この報告書とともに、以下のとおりオランダにおける食中毒による疾病負荷の推定について報告

http://www.rivm.nl/en/Documents_and_publications/Common_and_Present/Newsmessages/2015/WHO%E2%80%99s_first_ever_global_estimates_of_foodborne_diseases_children_under_five_account_for_almost_one_third_of_deaths

毎年 RIVM は食品、環境、動物、ヒトを介して感染する 14 種の腸内の病原菌による疾病数を発表している。患者数及び死亡者数は、国民の疾病負荷の指標である DALYs※で表した。この食品由来の疾病による疾病負荷は、6,230 から 6,550DALYs に増加した。これはスモークサーモンのサルモネラ(*Salmonella Thompson*)のアウトブレイクが原因である。オランダにおける食品由来疾病負荷の評価によると、カンピロバクターとトキソプラズマによるものが 12 種の食品由来疾病の中で最も高かった。RIVM 及びオランダ食品消費者製品安全庁による 2014 年の食品由来の感染症及び食中毒のデータ記録によると、ノロウイルスのアウトブレイクは比較的多数、カンピロバクターのアウトブレイクは比較的少数であった。サルモネラのアウトブレイクは 2013 年に比べ 2014 年は増加したが、2013 年以前と比較すると少ない。

※障害調整生存年(Disability-Adjusted Life Years DALYs)

複数の疾病や危険因子に起因する死亡と障害に対する負荷を比較しうる形で総合的に定量化するための指標

○関連情報(海外)

オランダ国立公衆衛生環境研究所(RIVM)

「オランダにおける食品由来感染症及び食中毒のデータ記録」(オランダ語、46 ページ)。

http://www.rivm.nl/dsresource?objectid=rivmp:293410&type=org&disposition=inline&ns_nc=1

○関連情報(国内)

厚生労働省

「食中毒(予防・対応・対策・統計)」

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/

※詳細情報及び他の情報については、食品安全総合情報システム (<http://www.fsc.go.jp/fsciis/>) をご覧下さい。